

研修報告書

四川省中江县公安局刑事警察隊
法医師 劉 金

四川省徳陽市公安局刑事警察分遣隊
法医師 李習海

2009年7月15日

今回、中国医科大学の笹川医学研修センターの第一期の研修生としてとても光栄に思っています。また、医学知識の勉強だけではなく、少なからずの友人や先生達に巡り合えたことが、私の人生でとてもいい思い出になりました。しかし、間もなく一年間の研修が終わろうとしています。この一年間は私にとって長いとも、短いとも言うことができます。中国には「天下没有不散的宴席」という言葉がありますが、どんなに幸福な時間も時がたてば終わってしまいますが、まだここから離れたくないという、少し矛盾した気持ちでこの感想文を書きました。

これから研修の経験をまとめてお伝えいたします。

I：感謝の気持ち

まず、中国医科大学笹川医学研修センターから今回研修の機会を与えいただき、本当に心から感謝しています。研修計画を立てていただいただけでなく、交通費用や宿舍まで提供して頂き本当に深く感謝しています。おかげで私たちは安心して勉強に励むことができました。

中国医科大学法医学院のリーダー兼指導者の丁梅先生には様々な計画を立てていただきました。中でも、私たちのために日本の専門家、内ヶ崎先生をお招き授業していただいたことはいまでも鮮明に心に焼きついています。先生には研修以外でも、生活上でも親のようにお世話になり、心から感謝いたしています。

また、中国医科大学国際交流処の才処長と王先生が後方支援をしていただいたおかげで、私たちは勉強に集中することができました。皆様からの心のこもったご支援をいただき本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

II：研修の成果

私は2002年に華西医科大学法医学専門学校を卒業しました。卒業後は公安事業に従事していましたが、現場では学校で習ったことのないような問題に沢山直面します。監察に行き詰ることも多くあり、それらを解決したく今回中国医科大学に研修しに参加しました。上半年は中国医科大学の本科生たちと一緒に法医学の専門の知識を一生懸命勉強しました、以前より論理的なことを深く理解できるようになりました。下半年には、先生と一緒に

に現場の監察鑑定を経験するなど、今回の研修ではとてもたくさんの知識をつむことができました。

以下にまとめます

- 1、法医学臨床学で各種類の監察の過程と要求。
- 2、法医学臨床医学の難しい問題の鑑定、たとえば：目、耳、椎間板、流産、傷と病気の関係の鑑定。
- 3、法医学臨床医学検査設備の操作方法を身につける。
- 4、死体の解剖、組織器官の取り出し、鑑定書の分析書き方。
- 5、法医学の血痕と爪の中に血痕の血型の検査。
- 6、日本の法医学監察医制度を理解できて、世界の先端な法医学の動向の理解。

Ⅲ：アドバイス

笹川医学研修センターは去年成立したため、研修への準備期間があまりなかったと思いますが、第一期生として更なる笹川研修センターの発展を望み、また続く後輩への責任もあり、研修中に不自由を感じたところがあったため、いくつか発表させていただきます。

- 1、笹川医学研修センターの成立する主旨が続きますように。そして中国の西部地域の医療事業の発展のために、特に西部の下部病院と学校の従業員にとってはこのような研修機会はすごく少ないです。このような大切な機会を彼らにも与えてあげてください。さらに中国の西部医療レベルの発展に必ず役立つはずです。
- 2、できることならば、日本の病院を見学するチャンスをご提供していただきたいです。視野を開かれ、もっと理解ができると思います。

以上は私の個人的な意見にすぎません。何か失礼なところがありましたら、お赦ください。
以上



